

- (5) 1984年4月16日から10月23日まで毎月1回幼稚魚調査を実施した。そして、期間中の採捕物の合計は約45種類、872個体であった。またオジサン、イソフエフキ、ヒメフエダイ、ロクセンスズメダイ、ルリスズメ、アイゴ、アミアイゴ、およびハナアイゴなどを多く採捕した。
- (6) 1984年10月23日に人工礁調査をおこない約12種類、84個体の魚が蟄集しているのを観察し、ヨスジフエダイやアジ類などが多くみられた。
- (7) 1984年5月18日、7月6日、10月3日、および1985年1月11日に水質調査をおこなった。そして、各地点ともに塩分濃度とDOは夏季に比べて冬季が高く、水温とCODは夏季高い傾向がみられた。

#### 参考文献

- 日本気象協会 1981. 海洋観測指針 429 pp.
- 日本水産資源保護協会 1980. 新編 水質汚濁調査指針 552 pp.
- 沖縄県水産試験場八重山支場 1980. 昭和54年度名蔵湾保護水面調査報告 22 pp.
- 1981. 昭和55年度名蔵湾保護水面調査報告 21 pp.
- 1982. 昭和56年度名蔵湾保護水面調査報告 16 pp.
- 1983. 昭和57年度保護水面管理事業調査報告書 51 pp.
- 1984. 昭和58年度保護水面管理事業調査報告書 42 pp.
- 東海大学海洋学部 1980. 魚類図鑑 379 pp.